

居合を学ぶ Ver.2

2019年8月
by KENZOU

■居合の基本操法

- ・ 刀の柄に手をかける方法
- ・ 目付
- ・ 抜く前
- ・ 横一文字
- ・ 斬り下し・血振るい

■戸山流森永派・基礎居合

- ・ 1本目：前
- ・ 2本目：突
- ・ 3本目：右袈裟
- ・ 4本目：左袈裟
- ・ 5本目：面を受けて左袈裟
- ・ 6本目：二段斬り

■戸山流森永派・本居合

- ・ 1本目：前の敵
- ・ 2本目：右の敵
- ・ 3本目：左の敵
- ・ 4本目：後ろの敵
- ・ 5本目：直前の敵
- ・ 6本目：後・前の敵
- ・ 7本目：右・左の敵
- ・ 8本目：突破

■英信流抜刀法（大日本抜刀法）

＜初伝＞

- ・ 1本目：順刀その1
- ・ 2本目：順刀その2
- ・ 3本目：追撃刀
- ・ 4本目：斜刀
- ・ 5本目：四方刀その1
- ・ 6本目：四方刀その2
- ・ 7本目：斬突刀

＜奥伝＞

- ・ 1本目：前敵逆刀
- ・ 2本目：多頭敵
- ・ 3本目：後敵逆刀
- ・ 4本目：後敵抜打

■無双直伝英信流

＜初伝＞ 正座の部

- ・ 1本目：前
- ・ 2本目：右
- ・ 3本目：左
- ・ 4本目：後
- ・ 5本目：八重垣
- ・ 6本目：受流
- ・ 7本目：介錯
- ・ 8本目：附込
- ・ 9本目：月影
- ・ 10本目：追風
- ・ 11本目：抜打

＜中伝＞ 立膝の部

- ・ 1本目：横雲
- ・ 2本目：虎一足
- ・ 3本目：稻妻
- ・ 4本目：浮雲
- ・ 5本目：風
- ・ 6本目：岩浪
- ・ 7本目：鱗返
- ・ 8本目：浪返
- ・ 9本目：滝落
- ・ 10本目：真向

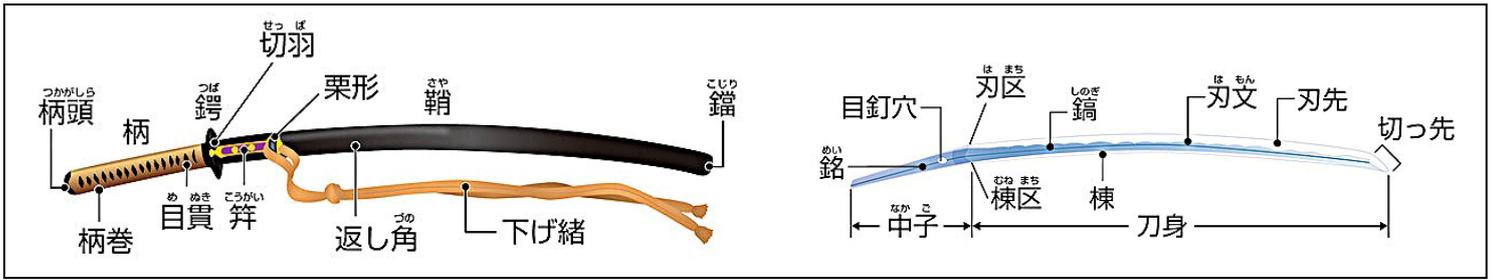
＜奥居合＞ 居業の部

- ・ 1本目：霞
- ・ 2本目：脛圍
- ・ 3本目：戸詰
- ・ 4本目：戸脇
- ・ 5本目：四方切
- ・ 6本目：棚下
- ・ 7本目：両詰
- ・ 8本目：虎走

＜奥居合＞ 立業の部

- ・ 1本目：行連
- ・ 2本目：連達
- ・ 3本目：惣捲
- ・ 4本目：惣止
- ・ 5歩目：信夫
- ・ 6本目：行違
- ・ 7本目：袖摺返
- ・ 8本目：門入
- ・ 9本目：壁添
- ・ 10本目：受流
- ・ 11本目：暇乞(一)
- ・ 12本目：暇乞(二)
- ・ 13本目：暇乞(三)

■居合の基本操法



●刀の柄に手をかける方法

まずは合掌をして刀の柄より下に降ろし、そのまま上に上げていくと刀の柄の握りとなる。



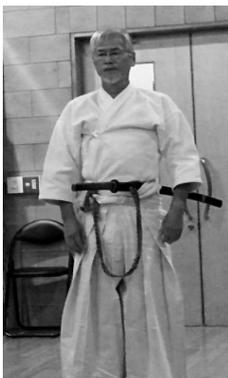
●目付

居合の場合には仮想敵を設定する。仮想的は自分の身長と同じとして捉え、相手の目を見る。そして、瞬きを極力せず、眉間に皺を寄せて相手の全体像を観る(遠山の目付)。



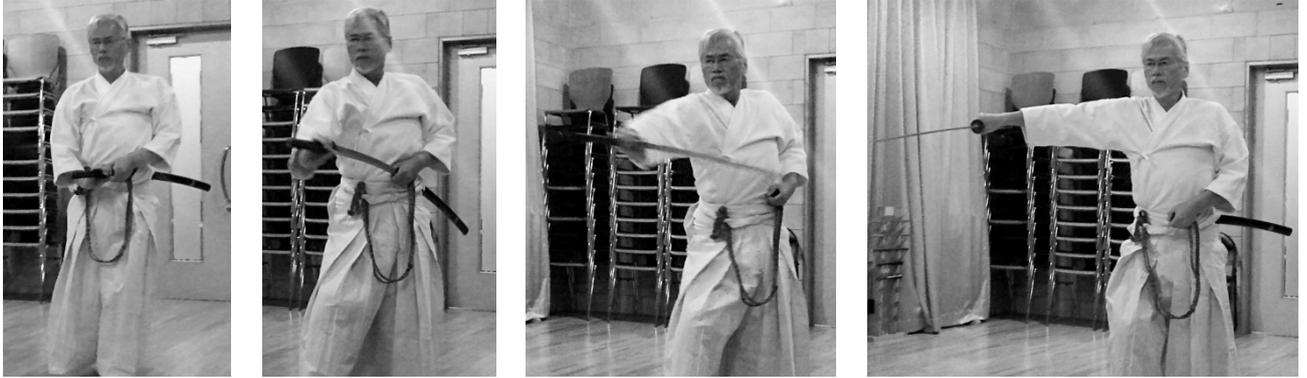
●抜く前

腹式呼吸にて二回静かに呼吸し、三回目の息を丹田に押し込み、そのまま息をしないで抜き付ける。



●横一文字

つかがしら
柄頭が相手に向くように「^{じよ}序・^は破・^{きゅう}急」の序（すなわちゆっくりと）で抜き初め、「^{きっさき}切先三寸」すなわち切先が出かかる瞬間に^{さや}鞘を後方に振り（鞘引き）、急激に抜き付ける（相手の胸部をわが体と正対して横に斬り付ける）。抜き付けた後は、切先は相手に向かい、^{こぶし}拳と肩は水平に、そして拳は下方に曲げて、刀全体が（切先が）少し下がり、水が^{したた}滴るように傾斜をつける。



●斬り下ろし

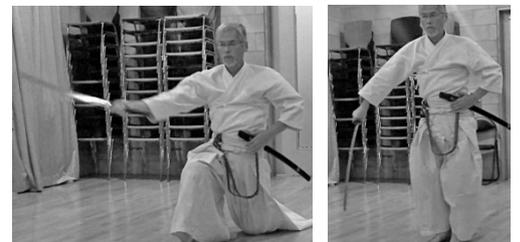
横一文字からの振りかぶりは、右手拳を内に曲げつつ、切先が左後方に向かうようにしつつ左耳と肩の間を通るように振りかぶり、後方に垂れ下がるように振りかぶる。左手を前に押すようにしながら、相手の^{へそした}臍下まで刀を斬り下げる。



おおちぶ

●大血振るい

刀を少し右方に傾け、右拳を外側に向けながら右後方を刺すように上げ、右側頭部につける（敬礼）。この時、^{そろ}剣先は後方に垂れ下がる。右横に刀を振って立ち足を揃える。そして反対側の足を後方に出し、刀を納める。



●戸山流森永派の血振るい

左足・右足を同時に後方に送り、刃先が右外側に向かいながら切先が自分の足元に向かうように振り切る。^{あしかこ}すなわち足圍（^{すねかこい}脛圍）いを行なう。

■戸山流森永派・基礎居合（6本）

「前」・「突」・「右袈裟」・「左袈裟」・「突きを摺上げ左袈裟」・「二段斬り」

● 1本目：前（00:22）－真向斬り－

刀を青眼に構えて右足から前方に3歩進み、4歩目の左足を右足後方に送り(継ぎ足)同時に刀を大上段に振りかぶり、右足を踏み出すと同時に「エイ！」と声を発して真っ向から敵の臍下まで斬り下ろす。切先を下方へ下げつつ左足、右足を一步後退させ、刀を青眼に構え直してから切先を再び下方に下げて血を流し落とす。柄を握る手を緩めて切先を右下方に垂らし、左足から後方に5歩下がって刀を青眼に構えて終わる。

● 2本目：突（00:48）－諸手突き－

刀を青眼に構えて右足から前方に3歩進み、4歩目の左足を右足後方に送る(継ぎ足)と同時に柄頭を臍近くに引き寄せ、右足を踏み出すと同時に「エイ！」と声を発し、腕を伸ばし腰を送って敵の鳩尾を刺突する。切先を下方へ下げつつ左足、右足を一步後退させ、刀を青眼に構え直してから切先を再び下方に下げて血を流し落とす。以下、1本目と同様。

● 3本目：右袈裟（01:05）－右袈裟切り－

刀を青眼に構えて右足から前方に3歩進み、4目の右足を左足後方に送る(継ぎ足)と同時に刀を上段に振りかぶり、左足を踏み出すと同時に「エイ！」と声を発して左袈裟に斬り下ろす。切先を下方へ下げつつ左足、右足を一步後退させ、刀を青眼に構え直してから切先を再び下方に下げて血を流し落とす。以下同様。

● 4本目：左袈裟（01:23）－左袈裟切り－

刀を青眼に構えて右足から前方に4歩進み、5歩目の左足を右足後方に送る(継ぎ足)と同時に刀を上段に振りかぶり、左足を踏み出すと同時に「エイ！」と声を発して左袈裟に斬り下ろす。切先を下方へ下げつつ左足を一步後退させ、刀を青眼に構え直してから切先を再び下方に下げて血を流し落とす。以下同様。

● 5本目：突きを摺り上げ左袈裟（01:42）－突きを摺り上げて左袈裟切り－

刀を青眼に構えて右足から前方に3歩進み、4歩目の左足を少し後方へ踏み戻すと共に右足も一步後退しつつ刀を逆八相に構え(刀の鍔が口元)、敵の突きを摺り上げ刀を上段に振りかぶり、左足を踏み出すと同時に「エイ！」と声を発して左袈裟に斬り下ろす。切先を下方へ下げつつ左足を一步後退させ、刀を青眼に構え直してから切先を再び下方に下げて血を流し落とす。以下同様。

● 6本目：二段斬り（01:58）－面から臍下までの二段斬り－

刀を青眼に構えて右足から前方に3歩進み、4歩目の左足を右足後方に送る(継ぎ足)と同時に刀を大上段に振りかぶり、右足を踏み出すと同時に「エイ！」と声を発して真っ向から「面」に斬り下ろし、さらに足を送って「トウ！」と声を発し上段から敵の臍下まで深く斬り下ろす。切先を下方へ下げつつ左足を一步後退させ、刀を青眼に構え直し、以下同様。

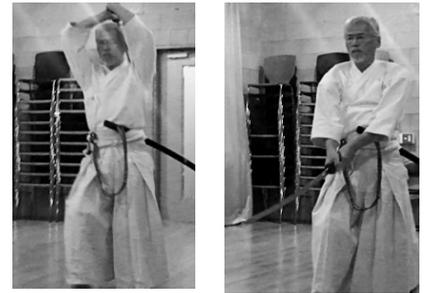
■戸山流森永派・本居合（8本）

「前の敵」「右の敵」「左の敵」「後ろの敵」「直前の敵」「後前の敵」「左右の敵」「多数の敵」

● 1本目：前の敵 （逆袈裟+真向斬り）（04:50）（正面）

右足を踏み出すと同時に左手で鯉口を切り、左足を出す時に右手で柄を握り、左手と右手で瞬時に刀を反転させ（逆刀：刃部が真下に）、刀を抜くと同時に右足を踏み出し逆袈裟に斬りつける。続いて左足を踏み出しつつ切先を頭上後方に向かわせて刀を上段に構え、直ちに右足を踏み出すと同時に真向から敵の臍下まで斬り下ろす。

左足・右足の順に素早く後方へ引く同時に「足囲いの血振るい」を行ない納刀。



● 2本目：右の敵 （横一文字+真向斬り）（05:20）（正面）

殺気を発する右敵に顔を向けて鯉口を切り，左足を右足前に踏みだし腰を捻って体を回し柄頭を敵の心の臓に向けて刀を抜きだす。右足を踏み込むと同時に横一文字に斬りつけ，左足を出しながら左耳と肩との間に切先を後方に通して刀を上段に構え、右足を踏み込んで真向から敵の臍下まで斬り下ろす。以下同様。



● 3本目：左の敵 （片手突き+受流し+腰斬り）（05:49）（正面）

右足を出しつつ左の敵を見据え，左手で鞘を横（刃は外向き）にして腹に近づけ、左足を敵方に出し，右足を右側に引くと同時に刀を抜きだし，腰を左に捻って鞘引きし（鯉口は敵に向かう）て刀の棟を体に当て，切先を敵に向ける。左足を敵方へ送り，右足を送ると同時に敵の胸元を一気に突く（このとき右腕と鞘を握る左腕は交差する）。刺突を避けた敵の上段からの攻撃を右足を左前方に踏み出して（このとき、左右の足先を結ぶ線は敵と平行に

（正面）

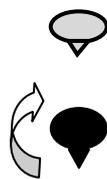


なるように) 鎗で受け流し、左足を後方に引きながら敵の腰を斬る。以下同様。

● 4本目：後ろの敵 (片手左袈裟+真っ向斬り) (06:16)

後方の敵の気配(殺気)を感じて右足を踏み出すと同時に鯉口を切り、続いて右手を柄にかけると同時に左足を右足の前に横向きに置き、顔を後方に向けながら敵に気付かれないように刀を上へ抜きはじめ、爪先に力を入れて右方に廻り後方の敵と正対するや否や右足を踏み出して片手左袈裟で斬りつける。この一刀を後退して避けた敵に対し、切先を敵の顔に向け左足を一步前に踏み出して敵を牽制し、刀を上段に構え右足を踏み込んで斬り下げる。以下、同様。

(正面)



● 5本目：直前の敵 (真向斬り+刺突) (06:40)

その場で同時に両手で鞘と柄を掴み柄頭を相手の頭部に向けて刀を抜き上げ、鞘離れと同時に右足を踏み出して諸手真っ向に臍下まで斬り下げる。直後に左足を右足の後ろに送り、刀の切先を相手の鳩尾辺りまで上げ直ちに右足を踏み出すと同時に腰と腹で敵を刺突する。以下同様。

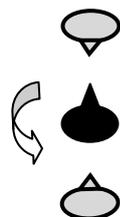
(正面)



● 6本目：後・前の敵 (後方右袈裟+前方真っ向斬り) (07:01)

右足を出すと同時に左手で鯉口を切り、左足を左外側に踏み出し、右手で柄に手をかける(※)。左足を軸に後方に左回転しながら刀を抜き上げ、敵の一刀を弾くべく自分の額の前に棟がくるように構える(この時刃は水平になっている)。

(正面)



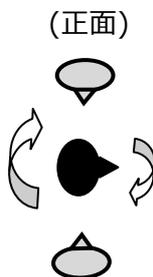
斬撃を弾かれた敵が左方に前のめりになったので、左足を後方に引いて諸手右袈裟で敵の腰を斬る。直後に左足を横移動させて体の向きを反転しつつ刀を上段に構え、迫ってきた前



方の敵を即座に斬り下ろす（足の踏み込はない！）。左足が前にあるので、右足を前に出し残心を示す。以下、1本目と同様。（※）柄の握り方に注意！

● **7本目：右・左の敵** （片手袈裟+右袈裟+突き+大上段・残心）（07:31）

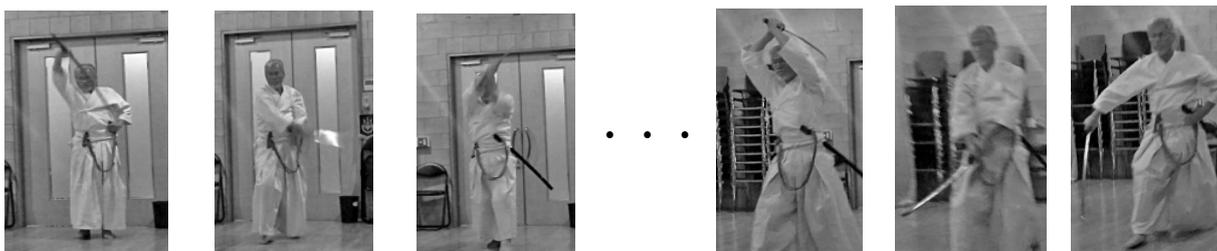
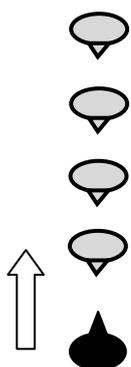
正面に対し左側を向く。右足を出して左手で鯉口を切り、右足の前に左足を横に置き、右手を柄にかけ右方向に顔を向ける。体を右に向けつつ刀を上に抜き上げ、敵と正対するや左足を踏み出し片手左袈裟で斬り付ける。引き続き左足を軸に反転し、右足を踏み込み諸手右袈裟で左の敵を斬り付ける。敵が後退して避けたので刀を青眼に構え、送り足で突きを入れ直ちに抜く。右足を大きく後ろに引いて気魄をこめて大上段の構えをとり、その後、左足を後方に引いて青眼の構えをとり残心。



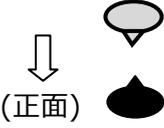
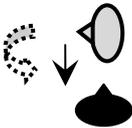
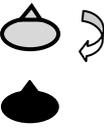
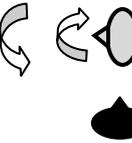
以下、1本目と同様。

● **8本目：多数の敵** （右袈裟+左袈裟+ . . . +真向斬り）（08:00）

その場で刀を上に抜き上げ、右足を出して右袈裟斬り、切先を後方に回し左足を出して左袈裟斬り。以上のことを再度くりかえし、最後に上段から斬り下げる。以下、1本目と同様。



■戸山流森永派・本居合のまとめ：仮想敵の動きと技の流れ

	本居合	技と立ち位置	仮想敵の動きと技の流れ
1	前の敵	逆袈裟+真向斬り 	殺気を発する前の敵に対し、機を悟られずに左右両手で刀を反転・抜刀し、右足を踏み出し逆袈裟で一気に斬り上げる。一撃を避けて後方に下がった敵を追い詰め、振りかぶって上段から一気に斬り下す。
2	右の敵	横一文字+真っ向斬り 	殺気を発する右敵を見据え、機を悟られず右回りに回り、鞆頭を敵に向けて刀を抜きつつ鞆引きし腰の捻りを活かして抜刀、正対して横一文字に斬り付ける。この一刀を退避した敵に、右足を踏み込んで追い詰め、振りかぶって上段から一気に斬り下す。
3	左の敵	突き+受流し+腰斬り 	殺気を発する左敵を見据え、機を悟られず一重身のまま刀の棟を体に当て、切先を左敵に向け突き放す。一撃を避けた敵の反撃を正対して受流しに振りかぶり、左方に流れた敵の腰を斬り下す。
4	後ろの敵	反転・片手右袈裟+諸手真っ向斬り 	左足を右足前に送って真上に抜刀すると同時に時計回りに反転して敵と正対し、直ちに右足を踏み出し腰の捻りを活かし片手右袈裟で斬り付ける(抜き打ち)。後ろに下がって一刀を避けた敵に対し、左足を踏み出して追い詰め、右足を踏み込み振りかぶって上段から一気に斬り下す。
5	直前の敵	諸手真っ向斬り+止めの突き 	刀を上方に抜刀し、右足を踏み出し振りかぶって一気に諸手真っ向から斬り下す。のけ反って一撃を避けた敵の鳩尾あたりに右足を踏み込み止めの突きを入れ、切先を斬り下しつつ後ろに下がる。
6	後・前の敵	反転・受流し+諸手右袈裟+反転・真っ向斬り+残心 (後)  (前) 	刀を抜き放ちながら左回りに回って敵の初撃を受け流しに振りかぶって正対し、左足を後方に引いて諸手右袈裟で斬り付ける。即座に反転し、前方の敵と正対するや否や真っ向から斬り下ろし、右足を踏み出して切先を敵の喉元に向け、残心。
7	右・左の敵	片手右袈裟+反転+諸手右袈裟+止めの突き+残心 	刀を抜き放ちながら右回りに回り、右足を踏み込んで敵を片手袈裟で斬り付ける。直ちに左足を軸に反転し、右足を出して左敵を諸手右袈裟で斬りつける。この一撃を避けた敵に右足を踏み込んで止めの突きを入れる。右足を引いて上段の構え、続いて左足を引いて刀を水平に構え残心。
8	突破	(右袈裟+左袈裟) × 2 + 大上段真っ向斬り	居並ぶ多数の相手に向かって斬り進む。

■ 無双直伝英信流抜刀法：大日本抜刀法・初伝 7本

「順刀その1」「順刀その2」「追撃刀」「斜刀」「四方切りその1」

「四方切りその2」「斬突刀」

(正面)



● 1本目「順刀その1」 (横一文字+1拍子の真向斬り) (11:38)

★歩行中、正面から仕掛けんとする敵の機先を制し、その胸部に横一文字に斬り付け、後退してその一刀を外した敵を追い、左足を大きく踏み込んで斬り下ろして勝つ。

●右足を踏み出しつつ左手で鯉口を切り、左足を踏み出しつつ右手を柄に手をかける。右足を踏み出しつつ刃を外に向けながら抜きだし、切先が鞘を離れると同時に大きく踏み込んで横一文字に斬り付ける。この一刀を後ろに下がって避けた敵に対し、左足を踏み出しつつ振りかぶり、左足を大きく踏み出すと同時に真向から斬り下ろす(一拍子の斬り下ろし)。「大血振るい」し、左足を大きく後ろに引いて納刀。



● 2本目「順刀その2」 (横一文字+継足・真向斬り) (12:16)

★「順刀その一」と同じ状況を想定。

●切先が鞘を離れると同時に右足を踏み込んで横一文字に斬り付ける。最初の一刀を後ろに下がって避けた敵に対し、左足を右足後方に送り込み、右足を大きく踏みだし直ちに真向より斬り下ろす。切先を右斜めにサッと振り下ろして「横の血振るい」(2本目以降同様)、納刀。



● 3本目「追撃刀」 (抜打ち+継足・真向斬り×2+大上段の構え+青眼残心) (12:48)

★歩行中、正面から仕掛けんとする敵の機先を制して、敵の右肩口から片手袈裟に斬り付け、後退する敵を追い、大きく踏み込んで真向に斬り付け、さらに追撃して斬り下ろして勝つ。

●右足を踏み出しつつ左手で鯉口を切り、左足を踏み出しつつ右手を柄に手をかける。右足を踏み出して半身の体勢となりつつ鞘頭を敵の頭部に向けて刀を抜き始め、切先が鞘を離れると同時に右足を踏み出し片手右袈裟で敵の右肩口から水月まで斬りつける。続いて振りかぶりつつ左足を右足に引き付け、上体をやや沈めて後退する敵の真向に斬り付ける。第一刀が不十分なため、直ちに振りかぶり、後退する敵を追い、第一刀と同要領にて再度右足を大きく踏み出し、追撃して真っ向から斬り下ろす。この時、左右の両足は揃っている。



右足を後方に大きく引いて大上段に構え、左足を後方に引いて刀を中段に構えて残心。横の血振るいを行ない、納刀。

● 4本目「斜刀」 (逆袈裟+左袈裟+右袈裟) (13:18)

●歩行中、正面上段から斬り付けてくる敵に対し右足を踏み出し敵の小手を狙って逆袈裟に斬り上げる。さらに左足を踏み込んで刀を摺り上げつつ、右足を少し後方に引いて敵の頭部・首筋を左袈裟で斬り付ける

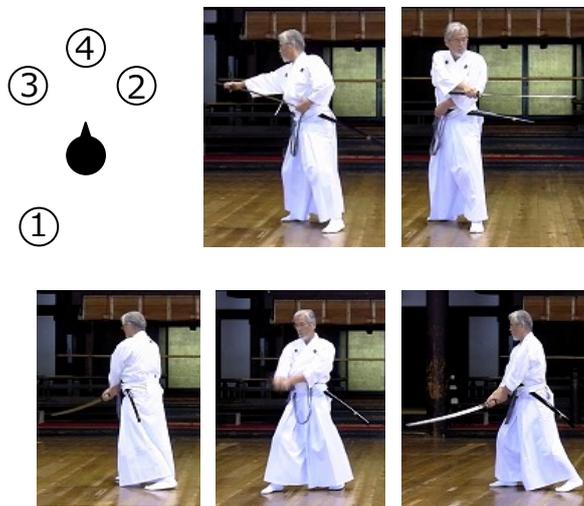


(刀の向きは変えない)。続いて右足をやや前方に大きく踏み出し左足を後方に引いて敵の腰を右袈裟で斬りつけて倒す。横の血振るい、納刀。

● 5本目「四方刀その1」 (突き+真向斬り×3) (13:50) ※左足を軸足に敵と正対

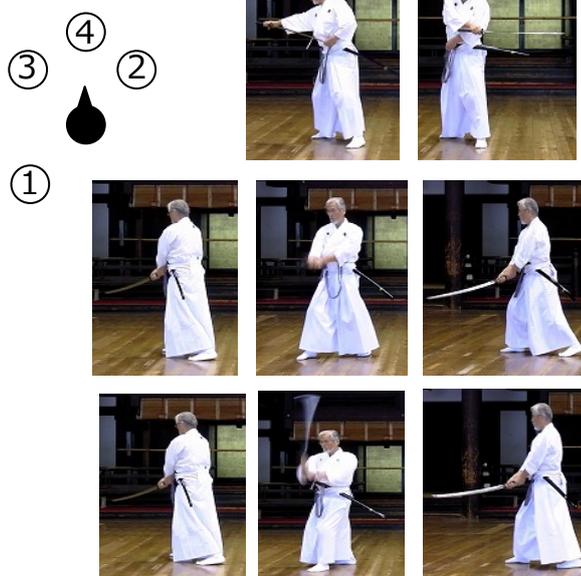
★歩行中、四方に多数の敵で囲まれた場合の刀法。

●右足を踏み出しつつ左手で鯉口を切り、左足を踏み出しつつ右手を柄に手をかける。右足を右前に大きく踏み出すと共に鞘頭を②の敵に向け刃を少し外に傾けながら抜き、鞘離れと同時に刃を横に向け、①の敵を睨んで突きを放つ。直ちに②の敵を睨み、右前に向き直りながら振りかぶり同体勢にて真向から斬り下ろす。次に左足を軸に左に回りながら右足を左前に大きく踏み出しつつ振りかぶり、踏み出すと同時に③の敵を真向から斬り下ろす。引き続き左足を軸に右足を正面に大きく踏み出しつつ振りかぶり、踏み出すと同時に④の敵を真向から斬り下ろす。横の血振るい、納刀。



● 6本目「四方刀その2」 (突き+真向斬り×3) (14:21)

●右足を踏み出しつつ左手で鯉口を切り、左足を踏み出すとともに右手を柄に手をかける。右足を右前に大きく踏み出しつつ鞘頭を②の敵に向け刃を少し外に傾けながら抜き始め、鞘離れと同時に刃を横に向け、①の敵を睨み、突きを放つ。直ちに②の敵を睨み、右前に向き直りながら振りかぶり同体勢にて真向から斬り下ろす。次に右足を軸に左足を左前に大きく踏み出しつつ振りかぶり、踏み出すと同時に③の敵を真向から斬り下ろす。右足を正面にむけて大きく踏み出しつつ振りかぶり、踏み出す



と同時に④の敵を真向から斬り下ろす。横の血振るい、納刀。

● 7本目「斬突刀」 (抜打ち左袈裟+突き+真向斬り下し) (15:04)

★歩行中、正面から仕掛けんとする敵の機先を制して、敵の右肩口から片手袈裟に斬り付け、胸部を刺突し斬り下ろして勝つ技。



●右足をだしつつ左手で鯉口を切り、左足を踏み出しつつ右手を柄にかける。右足を踏み出しつつ刃を少し外に傾けながら鞘頭を敵の頭部に向けて刀を抜き始め、切先が鞘を離れると同時に右足を踏み込んで左袈裟に斬り下



ろす。後方に退く敵に対し、左足を右足に引き付けて中段に構えるや間髪をおかずに右足を大きく踏み出し敵の胸部を突く。諸手にて刀を手元に引いて抜き取り(左足は右足後ろまで引き付ける)、その体勢のまま振りかぶり右足を大きく踏み出すと同時に真向から斬り下ろす。横血振るい、納刀。

■ 無双直伝英信流抜刀法：大日本抜刀法・奥伝 4本 ※早納めの納刀となる！

「前敵逆刀」「多頭敵」「後敵逆刀」「後敵抜打ち」

● 1本目「前敵逆刀」 (逆袈裟+1拍子の右袈裟) (19:24)

★歩行中、正面から仕掛けんとする敵の機先を制して斬り上げ、斬り下ろす刀法で、刃を下に返して抜刀し、敵の右胸下部から左肩の方向に斜めに掬い上げるように斬り上げ、後退する敵に大きく踏み込んで左袈裟に斬り下ろして勝つ技。



●右足から踏み出し、三歩目の右足を踏み出しつつ左手で鯉口を切る。左足を踏み出しつつ右手を柄にかけ、五歩目の右足を踏み出しつつ刃を上にして抜きだす。切先が鯉口を離れる瞬間に刃を下に返し、抜刀するや右半身の体勢にて敵の右胸下部から左肩の方向に掬い上げるように斬り上げる。斬り上げた刀は自分の頭上の高さで概ね水平になる。退く敵を追い、左足を右足後ろに引き付けつつ振りかぶり、右足を大きく踏み出して右半身となりつつ、敵の左肩口から左袈裟に斬り下ろす。中段に構え、横の血振るい、早納めの納刀。

大日本抜刀法(英信流抜刀法)は河野百錬(明治31-昭和49)によって組み立てられた型であるため、河野百錬流とも呼ばれることもある。本来は九本であるが、後に福井虎雄が行いやすいようにと、河野より許可を得て順刀と四方刀の二本を2種に再編した。

● **2 本目「多頭敵」** (突き+真向斬り×2) (20:07)

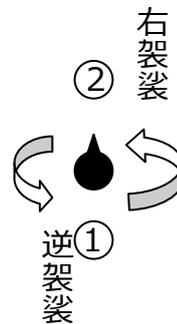
★歩行中、多数の敵を受けた場合の刀法で、左後ろの敵を刺突し同体勢にて右前の敵を斬り下ろし、左足を踏む込んで左前の敵を斬り下ろして勝つ技。

●右足から踏み出し、3歩目の右足を踏み出しつつ左手で鯉口を切り、左足を踏み出しつつ右手を柄にかける。五歩目で右足を右前に大きく踏み出しつつ鞘頭を②の敵に向けて刀を抜き始め、鞘離れの瞬間に刃を横に向けその体勢のまま①の敵を睨み胸部を刺突する。直ちに②の敵を見据え右前に向き直りながら振りかぶり、同体勢にて②の敵を真っ向から斬り下ろす。引き続き右足を軸に左足を大きく踏み出しつつ振りかぶり、踏み出すと同時に③の敵を真向から斬り下す。横血振るい、早納めの納刀。



● **3 本目「後敵逆刀」** (逆袈裟+右袈裟) (20:32)

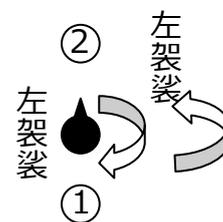
★我を中にして同方向に歩行中、前後に敵を受けた場合の刀法で、後ろの敵が仕掛けんとするのを機先を制して真後ろに振り向くや刃を下に返して、後ろの敵を斜めに掬い上げるように斬り上げ、直ちに正面に向き直り右袈裟に斬り下ろして勝つ技である。



●5歩の歩み、6歩目の左足を右足後方に送って体を左周りに反転させ、後方の敵①と正対して右上方へ逆袈裟に斬り上げる。直後、両足の位置はそのままに、左足を軸に反転し、②の敵と正体して諸手右袈裟に斬り下して勝つ。横血振るい、早納めの納刀。

● **4 本目「後敵抜打」** (左袈裟+右袈裟) ※4歩目で抜刀 (21:00)

★我を中間にして同方向に歩行中、前後に敵を受けた場合の刀法で、後ろの敵が仕掛けんとするのを機先を制して真後ろの敵に振り向くや左袈裟に斬り下ろし、直ちに正面に向き直り右袈裟に斬り下ろして勝つ業である。



●4歩の歩み足。4歩目で鞘を上に向けて刀を抜き放ち、右回りで体を反転、右足を踏み出し右半身の体勢で①の敵を片手左袈裟に斬り下ろす。その体勢のまま正面の敵に向き直り(足の爪先の向きに注意!), 諸手左袈裟に斬り下す。中段に構え、横の振るい、早納めの納刀。

